



審査の流れ

※新型コロナウイルス感染症の影響により、審査方法やスケジュールが変更になる可能性があります。

地方審査

期間 **9月～10月**

募集分野 **物理・化学・生物・地学・広領域**

9月から10月にかけて、中央予備審査に進む作品が選定される地方審査(都道府県大会)が行われます。「物理・化学・生物・地学・広領域」分野の研究作品は、地方審査に応募してください。

各地方審査によって、募集要項が異なります。公式ホームページの「地方審査問い合わせ先」でご確認ください。

応募方法 公式ホームページ上の出品票または、この「応募要項」10ページの出品票に必要事項を記入し、作品に添付してご応募ください。

送付先など 作品の送り先は9ページの「都道府県 問い合わせ」や、読売新聞の各地域版、公式ホームページの地方審査問い合わせ先をご確認ください。

※応募先は、学校が所在する都道府県となります。
※東京都審査は、web登録が必要となります。詳しくは10ページ下部をご覧ください。
※ISEF出場を目指す研究作品は、7ページもご覧下さい。

都道府県ごとに中央予備審査に進む代表作品を、原則として中学の部、高校の部で各3点決めます。

ただし北海道、千葉、埼玉、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡は各6点です。

審査結果は読売新聞の各地域版で発表します。

事前審査

募集分野 **情報・技術、応用数学**

「情報・技術、応用数学」の作品は、地方審査(都道府県大会)を行わず、中央予備審査に進む作品を選定する事前審査を行います。

応募方法 ①公式ホームページ内の「情報・技術、応用数学用応募フォーム」に必要事項を入力し、登録を行ってください。

②入力後、応募フォームに記入したE-mailアドレスに登録完了メールが送られてきます。登録完了メールに記載されているID、PASSを用いて、マイページへログインしてください。
※ID、PASSはなくさないよう保管してください。

③ログイン後に、マイページから研究レポートをアップロードしてください。
※研究レポートは、「研究レポート規定」に従い作成してください。

④研究レポートをプリントアウトし、出品票と共に下記事務局まで郵送してください。

送付先 〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
読売新聞東京本社次世代事業部 日本学生科学賞事務局
TEL 03-3216-8598 FAX 03-5200-1877

受付期間 2022年9月2日(金)～10月24日(月)
※審査結果は応募フォームに入力したE-mailアドレスにお知らせします。

注 意 ●研究の際、表計算ソフトを使用したというだけでは、この分野の対象にはなりません。
●明らかに他分野(物理・化学・生物・地学)の作品は審査できかねます。地方審査にご応募下さい。

中央予備審査に向けた登録

地方審査を通過し、都道府県代表に選ばれた作品は、中央予備審査前に下記の登録作業・研究レポートの提出を行って下さい。

- ①「研究レポート規定」に従った研究レポートを用意してください(地方審査の形式と異なる場合があります)。
- ②公式ホームページから「中央予備審査登録フォーム」に必要事項を入力の上、研究レポートを郵送してください。
※詳細は、地方審査終了後、対象者に直接通知します。

中央予備審査

期間 **11月12日(土)・13日(日)**

審査委員が分野ごとに審査を行い、中央最終審査に進む中学・高校各20点と、入選2等、3等の作品を決定します。



第65回大会
中央予備審査会の様子

中央最終審査

オンライン審査 **12月 17日(土)・18日(日)**



第65回大会中央最終審査会(オンライン)の様子

表彰式 **12月24日(土)**

中央予備審査を通過した研究作品40点について、審査委員が直接研究者に質問するオンライン審査を行います。

研究生徒はオンライン上で、動画によるプレゼンテーション(事前撮影)や質疑応答を行います。その際、指導教諭は審査委員の質問に答えたり、研究者に助言を与えたりすることはできません。

審査結果は12月24日の表彰式で発表し、翌日の読売新聞全国版に掲載する予定です。

※オンライン審査の詳細は、対象者にお知らせします。
※新型コロナウイルスの感染状況によっては、表彰式もオンライン開催となります。

国際大会(ISEF)への代表出場

2023年5月に開催される
ISEF2023へ日本代表として
出場します。

※詳細は7ページ

応募時の 注意事項

- 障害などが理由で、応募登録や審査に不安がある人は事務局にご相談ください。
 - 「高校生・高専生科学技術チャレンジ」(JSEC)は、日本学生科学賞とともに国際学生科学技術フェア(ISEF)と提携しているため、同じ研究作品を重複して応募することはできません。また、同じ学校から異なる作品を日本学生科学賞とJSECに応募した場合、同じ研究者が含まれている場合は、二重応募とみなします。
 - 中学の部では「自然科学観察コンクール」に同じ研究作品を重複して応募することはできません。
 - ISEF派遣対象は、高校の部と中学3年生の個人研究または2～3人の共同研究になります。4人以上で進めた研究は対象外になりますのでご注意ください。
 - 2022年1月以降のデータを含む作品に限ります。継続研究の場合、前年までの研究と、新しく研究した部分を分けた上で、研究期間が明確に分かるようにご記入ください。
 - 出品にあたって、文献、論文、新聞・雑誌の記事、テレビなどの映像番組、インターネット、講演会、インタビューなど第三者の研究・著作物を参考にしている場合は、参考資料として必ず明記してください。研究に虚偽がある場合、また第三者の著作権やその他の権利を侵害するものであることが確認された場合、主催者協議の上、審査対象外とし、審査終了後でも賞を取り消したりすることがあります。
 - 特許等の取得を検討している場合、申請は研究内容の発表から半年以内に行ってください。
 - 中央予備審査を通過した研究作品ならびに中央最終審査や表彰式の様子を撮影した画像や動画、受賞後に読売新聞社が取材した画像を含む紙面等は、主催者が本賞のPRをはじめとする各種媒体に自由に使用できるものとします。
- 5ページの「研究をはじめる前に」も合わせてご確認ください。

研究レポート規定(抜粋)

- Microsoft wordで作成してください。 ※一太郎でのレポートは受け付けません。
- 右記の指定項目に沿って、原則5000～8000字程度(指定項目7、8、9を除く)にまとめてください。用紙サイズA4、横書きとします。
- 図表、画像等は全てレポートの最後にまとめて添付してください。オートシェイプ等を使用して作図を行った場合は必ず「グループ化」してください。なお、PDF化して図表、画像等を固定できる場合は文中に挿入しても構いません。
- 研究レポートをPDFで保存し、公式ホームページ上のフォームから登録してください。登録後、レポートをプリントアウトし、出品票と共に事務局まで郵送してください。プリントアウトの際は両面印刷とし、クリップで留めてください。
- レポート以外の参考資料(研究論文、実験ノートなど)や動画などはCD-R、USBなどの記録メディアにコピーして事務局までお送りください。
- レポートや記録メディアの返却はいたしません。
- 標本(液浸標本等含む)、装置、模型などの実物提出は受け付けません。
- 公式ホームページ上の登録フォームでアップロード可能なレポートの容量は30MBまでです。
- レポートのファイル名は「整理番号(出品票の右上)・学校名」としてください。
- マクロは使用不可です。
※詳細は、公式ホームページをご確認ください。

指定項目

- 1 要旨、概要
- 2 問題提起、研究目的
- 3 研究方法
- 4 結果
- 5 考察
- 6 結論(課題)
- 7 参考文献
- 8 謝辞
- 9 図表・画像

研究を始める前に

私たちの生活は、多くの優れた科学研究の成果の上に成り立っています。優れた研究は、論理的で合理的な考えに基づいて行われています。一方、間違った思い込みや不正確な判断、公正でない方法で行われた研究は、誤った結果につながり、場合によっては社会に混乱をきたすこともあります。中高生の皆さんにとっても、公正で誠実な態度、合理的な考え方を持って研究に取り組むことは非常に大切なことです。

研究を始めるにあたっては、まず、これまでに何が分かっているかが分かっているかを、文献や書籍、データベースなどで確認しましょう。その上で、研究計画を立てます。きちんと計画を立てることが、筋道の立った論理的な研究につながります。

実験操作および結果は実験ノートに正確に記載し、必要な時にすぐにデータを確認できるようにしましょう。その際、データのねつ造、改ざん、盗用は絶対に行ってはいけません。また、機械や器具、薬品などは安全に取り扱うよう、十分に注意して下さい。研究内容によっては法律や規則などに反しないような配慮も必要になります。

人を対象とする調査、研究では、人に危害を加えないような配慮のほか、個人情報特定されないよう保護することなども必要になります。

野外での調査研究では、自身の安全に注意するとともに、対象となる生物や自然環境への影響を最小限にとどめるようにしてください。

昆虫や哺乳類など動物を使った実験も注意が必要です。生命の尊重、動物愛護の観点から、関連する法律や規則に従うとともに、動物実験に関する国際的な規則などに反することがないようにしましょう。

実験や内容によっては、大学や研究機関の専門家の指導、助言が必要で、これを怠った場合には優れた研究成果でも国際的には発表できないことがあります。

研究にあたっては、中高生だけでなく、指導にあたる先生方もぜひこのような点にご配慮ください。素晴らしい研究作品の応募を心から願っています。

日本学生科学賞中央審査委員一同

人を対象とした研究に関する注意事項

研究する生徒が直接、自分や他人の体を対象としたり、データやサンプル、個人情報を取得したりする研究には特に注意が必要です。

人を対象とした研究の例

-  **身体活動にかかわる研究**
(体の動きを調べたり、特定の食物を摂取させたりする研究など)
-  **意識調査やアンケート、テストを行う研究**
-  **研究する生徒本人を対象とした研究**
-  **生徒が開発した器具やアプリケーションなどを本人以外が被験する研究**
-  **個人の特定が可能なデータを閲覧する研究**

※研究する生徒が被験者に医療行為を行う研究は認められません。

○研究が人に及ぼす影響や安全性、人権の尊重などについて検討し、研究開始前に指導教諭および学校長の承認を得た上で行ってください。指導教諭や学校としての判断が難しい場合は、研究計画を変更・中止することも検討してください。不明な点は事前に日本学生科学賞事務局にご相談ください。内容によっては日本学生科学賞として審査できないこともあります。

○人を対象とした研究には対象者の同意が必要です。対象者が未成年の場合は対象者の保護者の同意も得てください。研究対象者が生徒自身の場合、事前に保護者の承諾を得てください。

○研究データに個人情報が含まれる場合は、個人が特定されないよう匿名化してください。個人情報には氏名や性別、年齢、住所、電話番号だけでなく、外見なども含まれます。



研究倫理について詳しい情報は

一般財団法人公正研究推進協会 (APRIN) のホームページをご覧ください。

公式ホームページ <https://www.aprin.or.jp/e-learning/rse>



受賞作品の紹介

第65回日本学生科学賞の受賞作品の中から、内閣総理大臣賞に輝いた2作品をご紹介します。先輩たちがどのような着眼点でテーマを見つけ、どのような研究で栄冠をつかんだのか、ぜひ参考にしてください。

赤羽さん 総理大臣賞

林さん 読売新聞社賞

学生科学賞中央審査

「オシロイバナの種の研究」
君津市立南陽中2年 赤羽真帆さん 14

「オシロイバナの種の研究」
君津市立南陽中2年 赤羽真帆さん 14

「オシロイバナの種の研究」
君津市立南陽中2年 赤羽真帆さん 14

河原さん 総理大臣賞

中西、中野さん入選3等

学生科学賞中央審査

「寄生バチの行動解明」
河原 永昌さん (県立伊勢高2年)

「寄生バチの行動解明」
河原 永昌さん (県立伊勢高2年)

卵を産まない寄生バチの雌が種を保存する!?

内閣総理大臣賞

2022年1月27日付 読売新聞紙面より

もっと過去の研究を知りたい場合は…

① 公式ホームページでは、過去に受賞した作品名・学校名などを検索できるほか、要項を含めた詳しい本賞の内容がご覧いただけます。

公式ホームページ
<https://event.yomiuri.co.jp/jssa/>

② 第55回以降の入賞・入選(一部除く)作品は、お茶の水女子大学「理科自由研究データベース」でご覧いただけます。

お茶の水女子大学
「理科自由研究データベース」
<http://sec-db.cf.ocha.ac.jp/>

